

日本小児血液・がん学会

令和3年度 第5回 長期フォローアップ・移行期医療委員会議事録

日時：令和3年10月5日（火）18：00～19：00

場所：Web 会議(会議ホスト：学会支援機構 東京文京区大塚 5-3-13)

出席者：大賀 正一（委員長）、

石田 也寸志、大植 孝治、上別府 圭子、清谷 知賀子、竹之内 直子、  
長 祐子、大園 秀一、湯坐 有希、家原 知子、宮村 能子、檜山 英三  
（以上委員）

前田 美穂、藤崎 弘之、古賀 友紀、小野 宏彰、加納 百華、横須賀 とも子  
（以上オブザーバー）

佐々木 莉也子、日向 佳絵子（以上事務局）

1. 前回（8月31日）第4回委員会議事録について

本委員会にて承認された。

2. テキスト・E-ラーニングについて

LCAS 事務局より、現在修正中だが、年度中に差し替える余裕がないため、同時進行で改定作業を進めてほしい。委員会では進めにくいので、ワーキンググループを作って進める提案がなされた。これが承認され、前田先生が中心となってワーキンググループを作り、来年度以降使用できるよう、改定作業を進めていくことになった。

3. LCAS 九州研修会について（2021年10月2日開催）

古賀先生より、ネットワークのトラブルなく時間通りに開催し、受講者41名、スタッフ29名、欠席者1名であったこと、および受講者のご意見などが報告された。

大賀委員長より、Web 開催は全国から参加しやすく均てん化にも繋がる一方、地域ごとの細やかな情報交換がしにくいので、予算なども許せば現地開催の利点も残せるハイブリッド開催が可能になるとよいという意見が述べられた。さらに、国も AYA に関する事業の重要性を注視しており、本研修会の参加人数は評価項目にもなる。希望者が多いので、全国から多数参加も可能なハイブリッド開催になれば、本事業の継続と発展が期待されるのでは、と述べられた。

4. LCAS アドバンス研修会について（2022年3月19日開催予定）

清谷委員より、100数か所の施設に案内送付済で、内容は参加施設から10月末までに

申込用紙に症例を記入してもらい事例検討の参考にする旨である、と報告された。

藤崎先生より、LCAS 大阪研修会（2021 年 12 月 25 日開催予定）について、ファシリテータ 5 名決定（6 名中）していること、通信手段等はこれから打ち合わせしていくこと、プレは 12 月 10 日前後に開催する予定であること、が報告された。

また、LCAS 大阪研修会より、参加者のグループワーク名簿の作成に関して、時間短縮のため、LCAS 事務局である程度作成し主幹施設に確認いただいで進めることとなった。

## 5. 移行期医療について

大園委員より、以下 3 件の進捗状況が報告された。

\* 「小児期発症 血液腫瘍疾患患者のための成人医療移行支援ガイド」に関する資料

（・小児期に発症する血液・腫瘍性疾患の成人期医療への移行支援に関する基本的姿勢の序文・治療サマリー・フォローアップ手帳の一部・トランジションステップ・4 つの疾患）を日本小児血液・がん学会のホームページに掲載

→ 基本的姿勢に加筆修正後、一般用と会員用を分けてホームページに掲載予定である。  
次に、パブリックコメントの手続きを進める予定である。

\* 総説「小児期発症血液・腫瘍疾患の成人への移行支援に関する基本的姿勢」

→ 原稿用紙約 30 ページの内容は、共著者の委員全員の確認後、日本小児血液・がん学会雑誌に投稿予定である。

\* JCCG 長期フォローアップ委員会教育ワーキンググループ作成の「復学支援ツール」

→ JCCG の研究審査を通す予定である。その後、JCCG より案内が届くので、各委員の施設で「復学支援ツール」をご使用頂き、その感想等を取りまとめたい。

## 6. その他

報告はなし。

次回会議予定 11 月 30 日（火）18 時～